



車の運転は「見る意識」

- 車の運転は周囲を確認する「見る意識」を持ちましょう
- 歩行者や自転車の存在の見逃しは重大事故につながります



暗くなると日中よりも周りは見えづらくなります。
また日が落ちてすぐは暗さに目が慣れないため、
特に意識して周囲を「見る」ように注意しましょう。

スピードは出しすぎないでじっくり見る

車はとても速く進みます

ゆっくり走ればそのぶん
周囲を見る余裕が生まれます



時速60キロ 1秒で約17メートル

時速30キロ 1秒で約8.5メートル

早めにライトを点けて周囲を見る

車のライトは暗くなりだす前から
早めに点けるよう習慣づけましょう



日没が早くなる
10月～2月は
午後4時が
点灯の目安です

ハイビームを使用して遠くまで見る

ハイビームはロービームの
2倍以上遠くを照らすことができます

遠くから歩行者や自転車の存在を見ることで
余裕をもって安全に運転することができます

※ 他の車両等と行き違う場合、または他の車両等の直後を進行する場合は前照灯を下向き(ロービーム)にしなければいけません



♥ 高齢者を交通事故から守る「思いやり運転」 ♥

高齢になると運動機能や各種身体機能が低下します。視力もそのひとつです。
高齢ドライバーに自車の存在をしっかりと見せるためにも早めのライト点灯は有効です。